

※DTX投与は基本6クールまで

【レジメン】

day 1 ② パージェタ 840mg/body
 day 1 ⑤ ハーセプチン 8mg/kg
 day 1 ⑨ ドセタキセル 60~75mg/m²
 day 2~21 休薬
 上記を3週毎に繰り返す。

【治療内容】

実施日	投与薬剤	経路	投薬内容	時間
day1 (/)	<input type="checkbox"/> ① 生食50mL	点滴	プライミング用の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ② パージェタ840mg+生食250mL	点滴	治療薬です。 ※PERの投与速度は下記参照	60分
	<input type="checkbox"/> ③ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ④	※ 観 察 時 間		45分
	<input type="checkbox"/> ⑤ ハーセプチン () mg+生食250mL	点滴	治療薬です。 ※HERの投与速度は下記参照	90分
	<input type="checkbox"/> ⑥ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑦	※ 観 察 時 間		15分
	<input type="checkbox"/> ⑧ デキサート8mg+グラニセトロンバッグ1mg/50mL	点滴	吐き気・過敏症予防の点滴です。	15分
	<input type="checkbox"/> ⑨ ドセタキセル () mg+生食500mL	点滴	治療薬です。	120分
	<input type="checkbox"/> ⑩ 生食50mL	点滴	ルート内をフラッシュします。	15分
day2 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後
day3 (/)	<input type="checkbox"/> ① デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	朝食後
	<input type="checkbox"/> ② デカドロン0.5mg 8錠	内服	吐き気・過敏症予防薬です。	夕食後

※パージェタの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

※ハーセプチンの投与速度：初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

※観察時間：Infusion reactionの発現確認のため、必ずパージェタ投与後1時間、ハーセプチン投与後30分観察時間を設けること。

【化学療法施行前に処方する薬剤】

・デカドロン錠0.5mg 16錠/2x朝・夕食後 2日

【化学療法に関わる指示】

嘔気時：メトクロプラミド () A 静注およびデキサート () mg 静注 ※配合変化のため混合しない
 上記効果が不十分な場合

オランザピンOD錠5mg 1錠内服(1日1回のみ使用可) ※糖尿病の既往がある場合は使用不可

吃逆時：メトクロプラミド1A静注

コントミン10mg 1A 筋注

※メトクロプラミド(注射・錠剤)とH2ブロッカー(注射)またはPPI(注射)は原則併用禁忌です。